

## 防水型基層アスコン(20)の操作説明

### 1) システムの起動 ⇒ **密粒度アスコン** を押す

送信されたプログラムの **ASDESIGNVx-Start.xlsm** をWクリック(以下、押す)する。

次に、**密粒度アスコン** を押す



### 2) **設計条件** を押す



**設計条件** を押す。

### 3) 「設計条件の選択」シートが表示される



防水型基層アスコン(20)を押す。

**設計条件の詳細設定** を押す。

4) 「設計条件設定シート」が表示される (下図画面)

5) 「設計条件の選択」画面に戻る。

6) 「設計初期シート」に戻る

このシートでは、外見上は当初の画面と同じに見えるが、内容は異なります。  
設計条件は「防水型基層アスコン(20)」に変更されています、  
空隙率などの条件も当然変更されています。

### 7) 「設計配合骨材選択」シートを開く

ここで、当初開いた材料はまだ選択された材料ではありません。(次に選択する)

整理した材料表から選択するを押す。

### 8) 骨材整理表 (使用骨材粒度等入力整理) シートが開きます。

この骨材表は新規骨材を用いる場合、粒度などのデータを入力・整理し、使用する骨材の入力が総て済んだら、使用する骨材の下段チェックボックスにチェックを入れて下さい。これで設計採用完了です。(以下、ここではスクリーニングスの例で入力の説明をします。)

Scr. の下段にある入力を押す。

### 9) 「骨材データ」画面が表示される。

ここで、「ふるい分け試験詳細入力フォーム」を開き入力作業を行って下さい。

粒度データ入力を押すと、「ふるい分け試験詳細入力フォーム」が開く。そこで入力作業を行

ここでは、ふるい分け試験粒度を入力する。試験年月日も必ず入力する。

「採用データ数」はここでは“1”として下さい。

最後に「決定(Return)」を押す。

10) 再度 骨材整理表 (使用骨材粒度等入力整理) シートに戻ります。

「防水型基層アスコン(20)」配合ではスクリーニングスを使用した方が良い配合となる。

チェックした材料を設計採用するを押す  
これで設計に採用する骨材が一覧表

11) 設計配合骨材選択表

配合設計される骨材一覧表が整理され、これを総て一括して設計シートに転記・入力される。

この材料表を設計採用するを押して、設計する総ての骨材が一覧表で整理され、その一覧表を総て設計シートに転記張り付け

12) 「配合設計シート」に再度戻る。

これから先は 自動設計 で行うので入力作業などはありません。確認するだけです。

配合設計の自動設計を押す。

